

## 砥粒加工学会卒業研究発表会 参加報告書

学部 4 年 森浦拓也

この度、私は、2013年3月7日(木)・8(金)に関西大学にて開催された「砥粒加工学会先進テクノフェア(ATF2013)卒業研究発表会」に発表者として参加しました。今回の参加人数は21人で、15番目に発表を行いました。発表形式は2分間のミニプレゼンテーションとポスター発表となっており、「力制御機能を備えたカンチレバー工具による精密加工」という題目で発表を行いました。

また、今回は学外での初めての発表ということもあり、ポスター製作などの準備には、かなり苦戦しました。特にミニプレゼンテーションでは、2分間という限られた短い時間の中で、研究内容を分かりやすく完結に、他人に伝えることの難しさを痛感しました。

そして、ポスター発表では4名の学会関係者の方が来られました。その中には、凄く興味を持って説明を聞いていただいた方や **Inventor** を用いて設計した加工システムについては、お褒めのお言葉をいただいたりしました。しかし、中には、「こんなの当たり前じゃん」、「材力の観点から考えれば分かるよね」というような厳しいコメントもいただきました。

今回はこのような発表会に参加でき、良い経験となりました。特に、自分のポスター発表の両隣だった学生や7日に宿泊したホテルが同じだった学生とは、色々なお話ができ、他大学の学生と交流する良い機会となりました。また、賞を受賞した他大学の学生のプレゼンテーションやポスターは良い見本となり、今後、参考にしていきたいと思いました。

最後に、今回の発表準備において、多くのご指導を頂いた産総研の芦田さん、森田先生、比田井先生、松坂先生、千葉先生に厚く御礼申し上げます。また、本研究の共同研究者である博士課程のヘルマンさんには、特にお世話になりました。重ねて御礼申し上げます。